

～身の丈林業で森林づくり・人づくり！～ 永井 敦さん（西条市）

フォレストコープ 代表 1953 年生まれ
(西条産業情報支援センター内 第3SOHO 支援室)
E-mail : sp4d2k59@kind.ocn.ne.jp



【経営規模：H26.9～H27.8】

間伐：32ha、下刈 1.7ha、竹林整備：0.3ha 支障木伐採など

【起業のきっかけ】

約30年勤めた森林組合を退職し、仕事としての林業を離れ、「晴耕雨読・のんびり生活」を描いておりましたが、大学院の社会人コースで改めて林業について学び直し、外から林業を見つめることで気持ちの整理が付き、ほんの少しですが使命感のようなものが芽生えてきた頃、背中を押してくれる人もあり、また仕事の協力者も確保できたことから、平成26年9月にフォレストコープを立ち上げました。

「ひと・もの・かね」に加え実績の無いところからの出発で、チェーンソー1台、刈払機1台で、自分たちの「身の丈に合った林業」を始めました。初年度は目標事業費の90%となり赤字決算となりましたが、この経験が2年目に繋がることを信じています。



【これからの夢】

■実践による技術の継承こそが林業の未来を拓く！

林業の担い手は異常に少なく高齢化も進んでおり、フォレストコープと一緒に作業をする男性2人も既に65歳を超えております。しかしながら、40年以上の林業経験を持ち、現在現場に出て技術を教えられる最後の年代の人達であります。この人達の力をお借りして、県下各地で事業体が立ち上げられ、共に各地で仕事をしながら、時には相互に連携・協力を行うといった関係を築きながら、技術を継承できる仕組みをつくり、新たな人材育成を目指したいと思っています。

【川上から川下の方へのメッセージ】

■森林からの恵みに感謝しよう！

手入れされた森林の中に入ると、一面の緑と木々や土の香り、木漏れ日、森の息吹などを感じることができ癒やしてくれます。また、森林は、豊かな水資源を生み出し、私たちの生活や産業を支えてくれているほか、土砂の流出を防ぐなど森林災害の防止にも貢献しています。

管理放棄された森林が荒廃に向かっている危機的な状況に目を向けていただき、豊かな森の恵みを享受できる持続可能な森林づくりを目指してみようではありませんか！

【ライフスタイル】

仕事は基本的に週休二日制で、土・日は休み。

ただし、天候に左右される職種のため、場合によっては、土曜に勤務することもあり。[1日の作業時間：8時～17時]

初年度は、公共事業の下請けが多かったこともあり9月から翌年3月は仕事に集中。4月から8月までは比較的に時間にゆとりがあったため、国内外を問わず歴史探訪の旅行に出かけ、在職中には味わえなかった醍醐味を満喫しています。

